

事業の背景・目的

現在、熊本県外1県に限りのみに生育が確認されている特定外来生物スパルティナ属の早期防除を実施することで、河口・干潟本来の生態系を保全する。



事業の内容

特定外来生物防除推進事業

宇城市大野川に繁茂する特定外来生物スパルティナ属の防除のため、環境省直轄事業と連携して防除を実施した。過年度に防除を実施した熊本市坪井川と宇城市八枚戸川において、再生箇所を被覆し、再度の拡大を防いだ。

【大野川、八枚戸川】

施工期間：R3.11.12～R4.3.18

防除方法：防草シート設置

防除面積：1,479 m²（大野川1,360 m² 八枚戸川119 m²）

【坪井川】

施工期間：R4.1.27～R4.3.18

防除方法：防草シート設置

防除面積：275 m²

得られた成果

大野川においては、環境省直轄事業と連携することで施工前の推定生育面積22,900 m²のうち約7割の防草シート被覆が完了し、全群落被覆の見込みが立った。八枚戸川及び坪井川ではそれぞれ再発箇所を被覆し、再度の拡大を防いだ。

スパルティナ属は生命力・繁殖力が旺盛であり、全群落の被覆が完了した後も、施工箇所のモニタリング及び再発箇所の防除は継続する必要がある。

また、被覆下のスパルティナ属の枯死が確認された後はシートの撤去を行う必要があるものの、被覆後の枯死に関する定量的な知見や、シート撤去までの期間や費用についての情報は乏しく、今後試験等により情報を収集する必要がある。